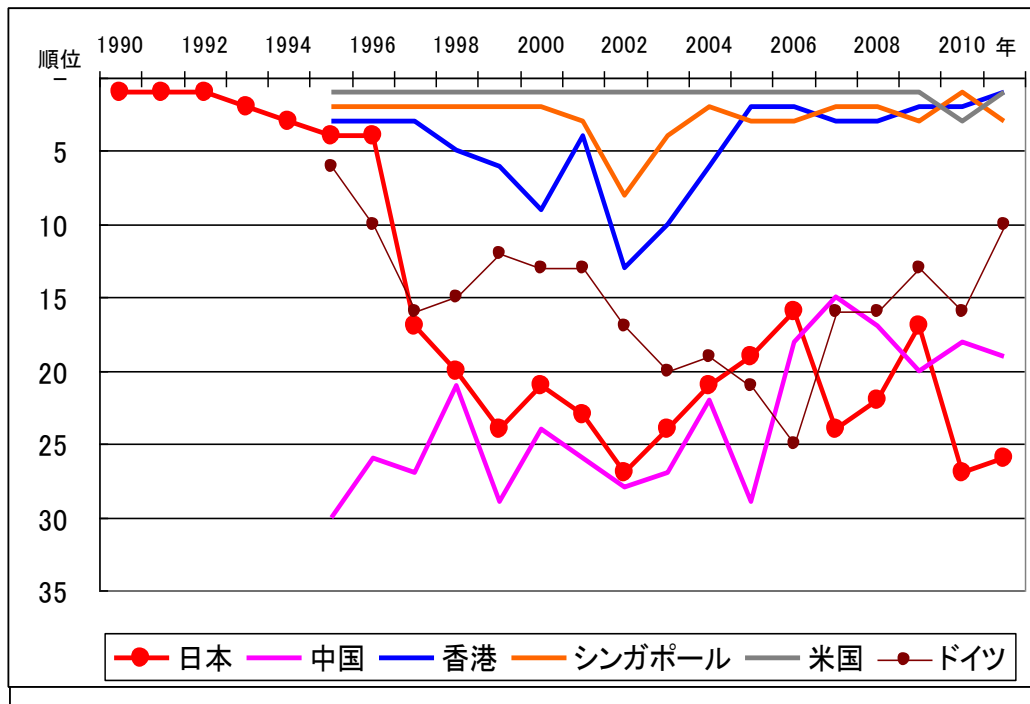


【 資料編 】

■ 厳しい日本の経営環境

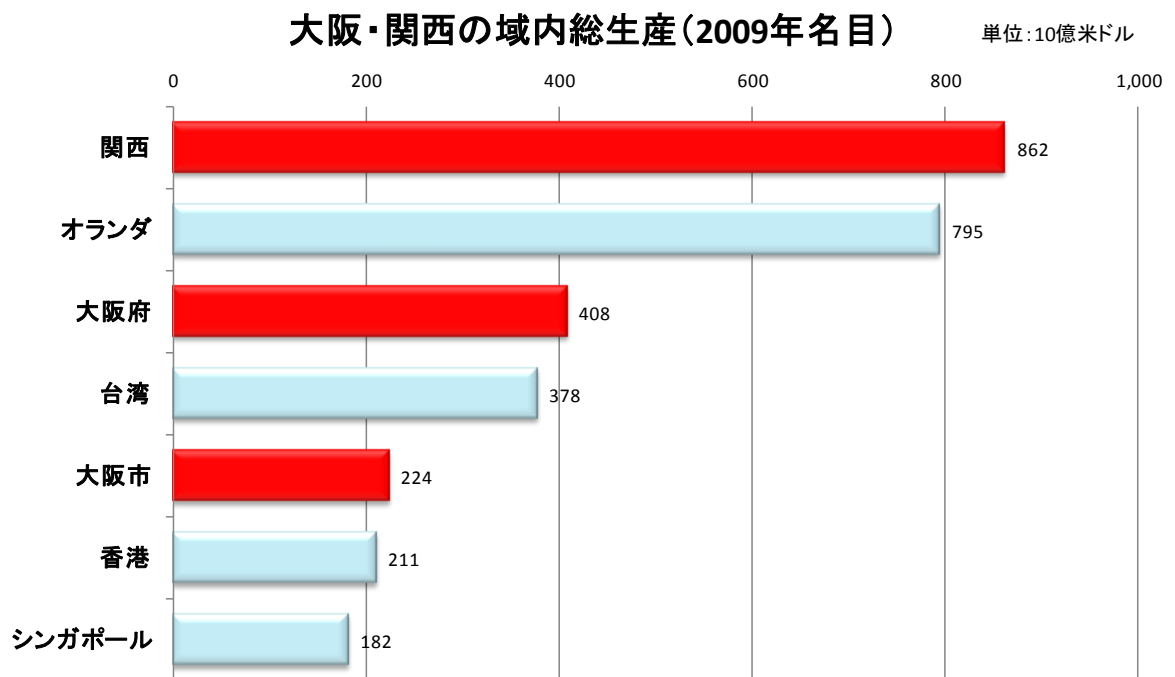
企業活動を支援する環境整備 主要60ヶ国のうち26位



出典：IMD (International Institute for Management Development) 「World Competitiveness Yearbook」の各年版、

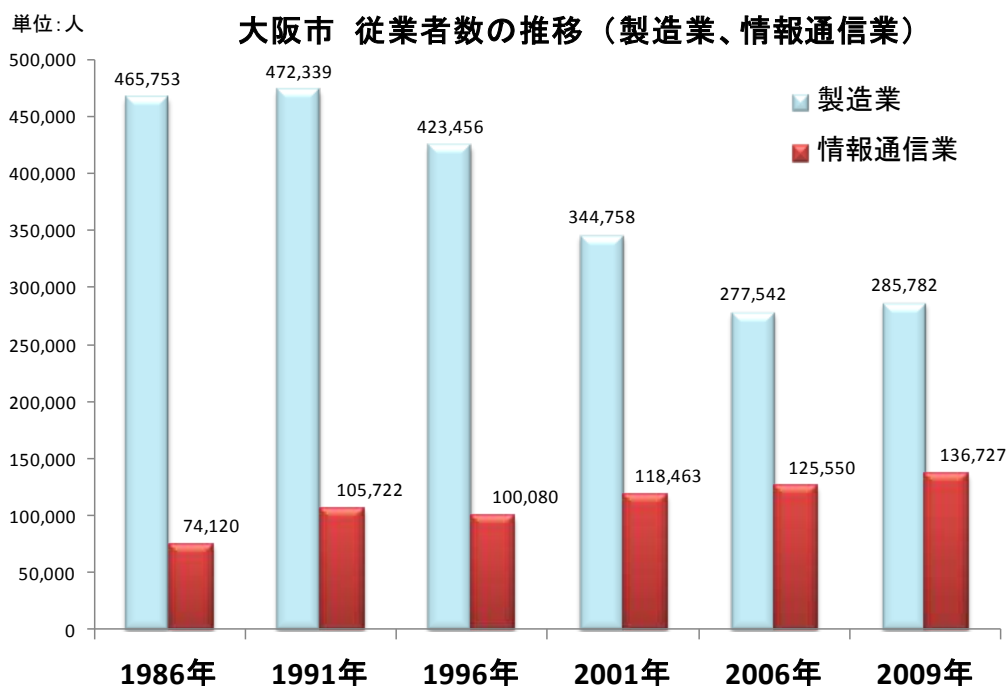
■ 関西はオランダを凌ぐGDPを創出

大阪府は台湾、大阪市は香港と並ぶ水準



出典：大阪市「大阪の経済(2012年版)」

■大阪市製造業の従業者は90年代から大きく落ち込む しかし依然、相当数の従業者を擁する



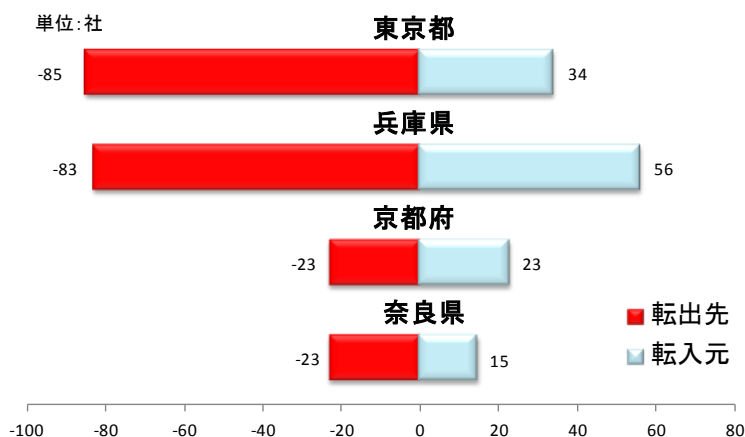
出典: 大阪市「大阪の経済(2012年版)」

■10年連続で大阪から府外への転出超過

大阪府 転入転出件数の推移

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	合計
転入	127	147	160	171	170	146	154	158	167	163	1,563
転出	290	295	251	267	304	270	245	278	258	259	2,717
転入-転出	▲ 163	▲ 148	▲ 91	▲ 96	▲ 134	▲ 124	▲ 91	▲ 120	▲ 91	▲ 96	▲ 1,154

2011年に大阪府から転出した企業の転出先、転入した企業の移転元



出典: (株)帝国データバンク「特別企画:大阪府 本社「転入転出企業」の実態調査」2012.3.28

■イノベティブな企業は新しい企業が多い

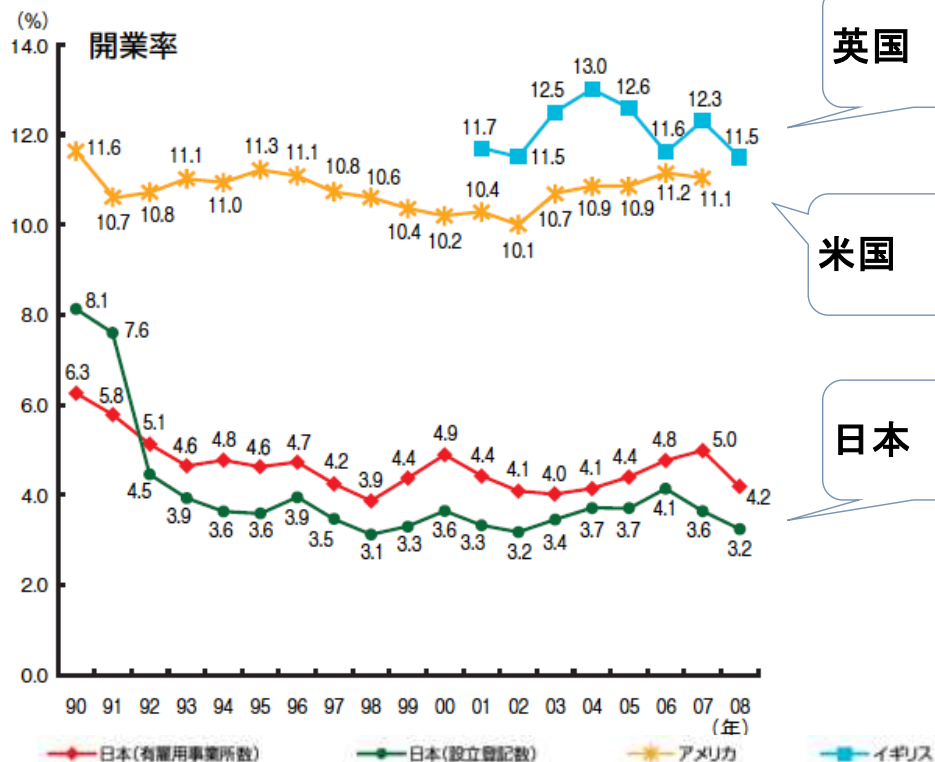
アメリカ企業は18社中、1970年以降の新興企業が9社
一方、日本企業は3社中、0社

順位	企業名	国名	創業年	順位	企業名	国名	創業年
1	Apple	アメリカ	1976	14	Starbucks	アメリカ	1971
2	Google	アメリカ	1998	15	Target	アメリカ	1881
3	Toyota	日本	1937	16	BMW	ドイツ	1916
4	General Electric	アメリカ	1878	17	Samsung	韓国	1938
5	Microsoft	アメリカ	1975	18	Virgin	イギリス	1970
6	Procter & Gamble	アメリカ	1837	19	Intel	アメリカ	1968
7	3M	アメリカ	1902	20	Amazon	アメリカ	1994
8	Walt Disney Co.	アメリカ	1923	21	Boeing	アメリカ	1916
9	IBM	アメリカ	1889	22	Dell	アメリカ	1984
10	Sony	日本	1946	23	Genentech	アメリカ	1976
11	Wal-Mart	アメリカ	1962	24	eBay	アメリカ	1995
12	Honda	日本	1948	25	Cisco Systems	アメリカ	1984
13	Nokia	フィンランド	1865				

資料: Jena McGregor, "The World's Most Innovative Companies" BusinessWeek, May 4, 2007.

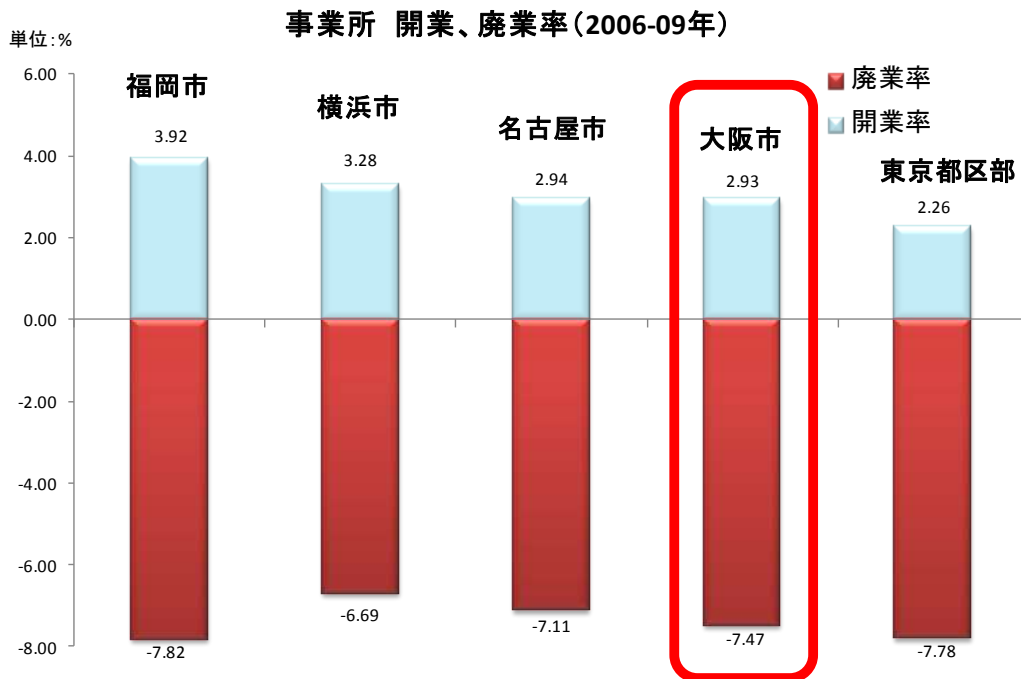
■低い日本の開業率

英国、米国、日本との比較



出典) 中小企業白書

■大阪市の開業率は他都市より低い 福岡市に約1ポイントの差



出典: 大阪市「大阪の経済(2012年版)」

■大阪・関西は医薬品産業の産学官が集積

図表3-6 関西における医薬品企業・大学公的機関の医薬品研究開発拠点



出典: (株) 日本政策投資銀行「創業を中心とした医薬品産業の現状とバイオベンチャー発展に向けて
～バイオベンチャーによる関西発の創業を目指して～」

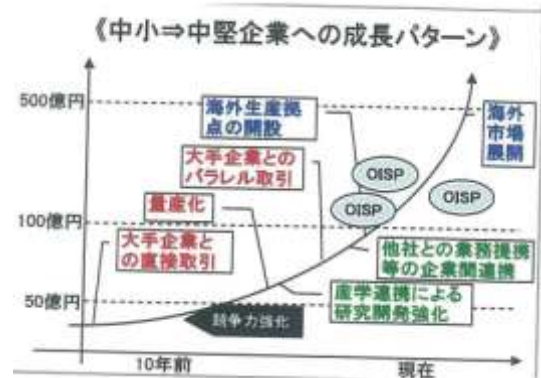
■大阪は多様な業種の独立系サプライヤーが集積

複数の大手アセンブラーと直接取引を行うことで経営基盤が安定、
研究開発を重視

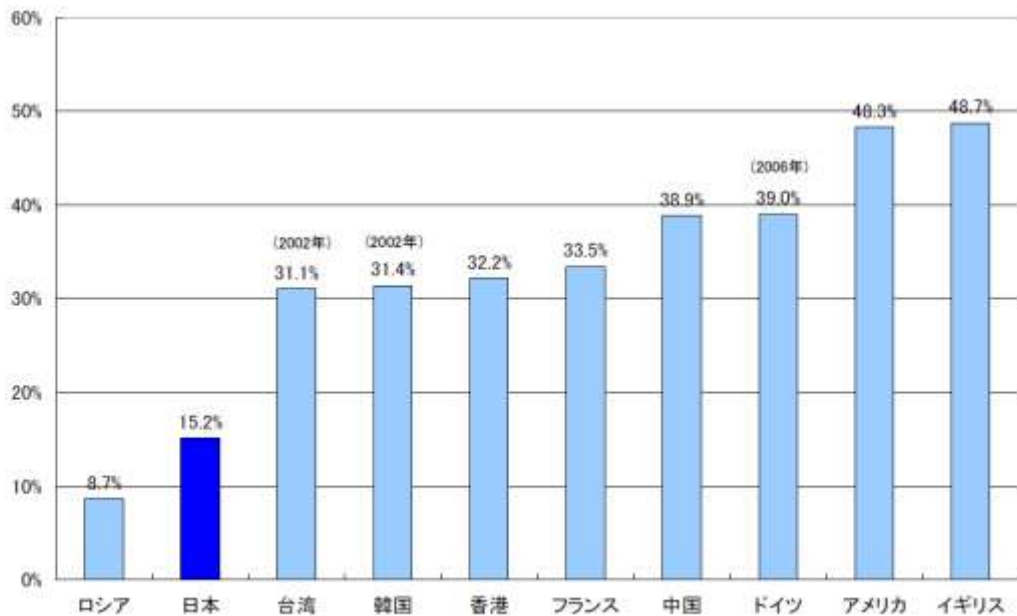
都市名	中堅企業数	うち独立系
東京都区部	1,372	845
大阪市	468	329
名古屋市	170	127
横浜市	124	68
神戸市	77	47
京都市	72	54
川崎市	65	37
福岡市	37	26
北九州市	35	21
	2,320	1,554

対象：製造業を主とし売上高50億円以上500億円未満(2008年)

(出典)「中堅企業実態調査」大阪市経済局(平成22年3月)



■日本では起業家スキルがあると考えている人の割合が著しく低い 18-64歳人口に占める起業スキルがあると考えている人の割合



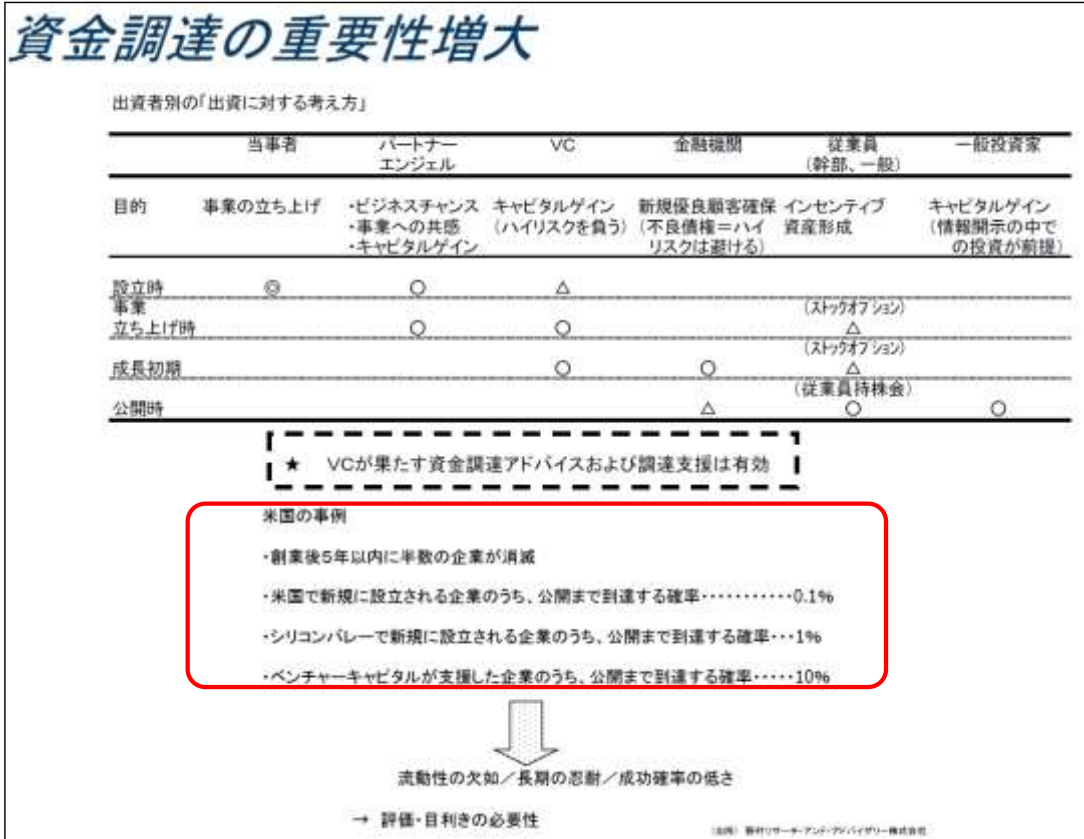
資料：Global Entrepreneurship Monitor 2007 (GEM)

出典：経済産業省「ベンチャー企業の創出・成長に関する研究会 最終報告書(2008年4月30日)」

■シリコンバレーは10倍のイノベーション創出力を持つ

米国で新規に設立される企業のうち、株式の公開まで到達する確率.....0.1%

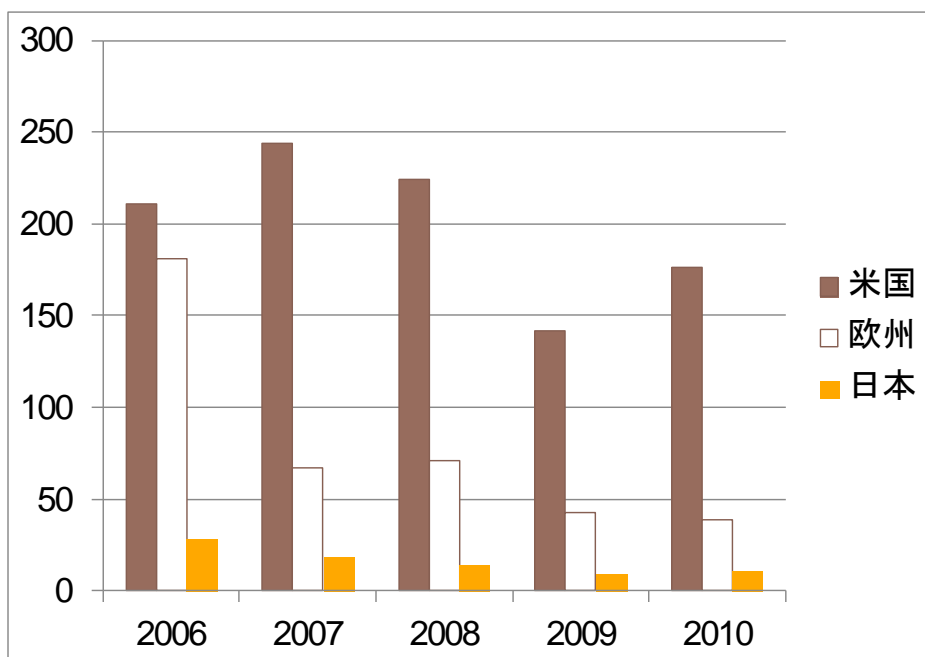
シリコンバレーで新規に設立される企業のうち、株式の公開まで到達する確率..1%



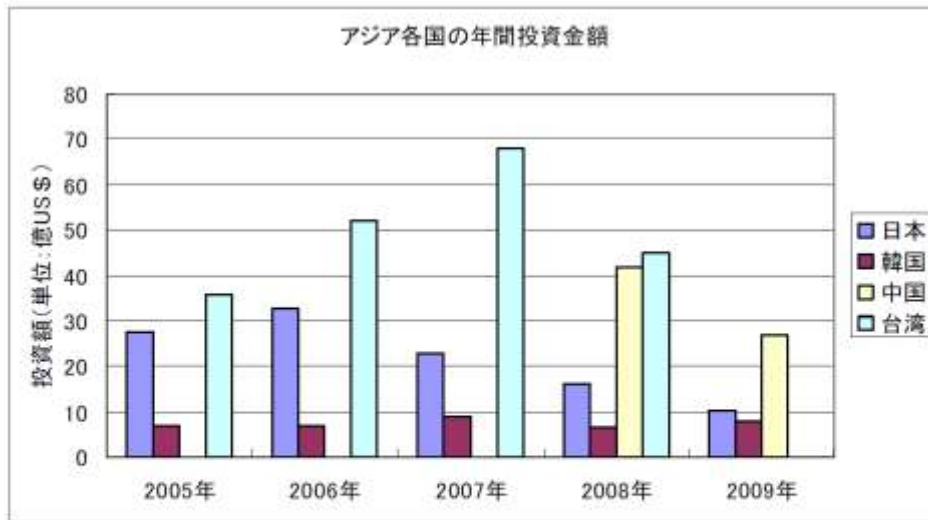
■日本のベンチャー投資は米国の10分の1以下

米国、欧州、日本のベンチャー投資年間投資額

(100億円)



■ 台湾、中国より低い日本のベンチャー投資額 2006年をピークに投資額が減少、中国に遅れ



	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
日本	27.546	32.821	22.732	16.066	10.294
韓国	6.732	6.696	8.815	6.442	7.708
中国	NA	NA	NA	42.000	27.000
台湾	35.832	51.964	68.040	45.003	NA

出所: 各国VC/PE協会提供資料より作成
 Note: 日本は年度での表記、その他はカレンダーイヤー
 台湾はPE(プライベートエクイティ)投資含むが、その他の国は含まない
 出典) 経済産業省「平成22年度アジア各国のベンチャー企業投資事例調査」

■ 日本の英語力は世界最低ランク 2009年TOEFL世界ランキングは113カ国中99位

順位	国名	スコア
1	デンマーク	100
2	シンガポール	99
3	オーストリア	97
3	ベルギー	97
3	フィンランド	97
3	南アフリカ	97
7	エストニア	96
7	ドイツ	96
9	アイスランド	95
10	モリシャス	94
10	アルゼンチン	94
12	コスタリカ	93
12	ウルグアイ	93
14	クオアチア	92
15	チェコ	91
15	ハンガリー	91
15	カナダ	91
18	インド	90
19	レユニオン	89
19	ジンバブエ	89
21	マレーシア	88
21	パキスタン	88
21	フィリピン	88
21	フランス	88
21	ギリシア	88
21	イタリア	88
21	プエルトリコ	88
99	日本	67

Data 1 アジア各国「TOEFLスコア」で判明!
 日本の平均スコアはブービー間近!?

●2010年アジア30か国「TOEFLスコア」平均点ランキング

1位	シンガポール	98点
2位	インド	92点
3位	マレーシア	88点
3位	フィリピン	88点
3位	パキスタン	88点
6位	バングラデシュ	83点
6位	スリランカ	83点
8位	ブータン	82点
9位	香港	81点
9位	韓国	81点
11位	キルギス	79点
11位	ネパール	79点
13位	カザフスタン	78点
13位	インドネシア	78点
13位	北朝鮮	78点
27位	日本 (30か国中)	70点

出典: Test and Score Data Summary for TOEFLR Internet-based and Paper-based Tests

■用語集

イノベーション

- ・新しい技術や新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変革をもたらすこと。

イノベーション・エコシステム

- ・産学官が各々の特徴を活かして活動を行い、生態系システムのようにそれぞれのプレーヤーが相互に関与してイノベーション創出を加速するシステム。

イノベーション・パイプライン

- ・基礎研究の成果を、一定期間が経過した後に市場化という形で結実させ、社会に利益をもたらす仕組みのこと。

イノベーター

- ・マーケティングに関する用語で、新たに現れた商品やサービス、ライフスタイルなどを、最も早い段階で受け入れる者。

エコシステム

- ・複数の企業が商品開発や事業活動などでパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、業界の枠や国境を超えて広く共存共栄していく仕組み。

オープンイノベーション

- ・自社技術だけでなく他社等が持つ技術やアイデアを組み合わせ、革新的な商品やビジネスモデルを生み出すこと。

官民連携ファンド

- ・ベンチャー企業や中小企業などに対する投資事業を行う民間機関等が組成する投資ファンドに公共側からも出資を行う形態のファンドのこと

クラウド： cloud computing (クラウドコンピューティング)

- ・ネットワーク、特にインターネットをベースとしたコンピュータの利用形態。データを自分のパソコンや携帯電話ではなく、インターネット上に保存する使い方、サービスのこと。

コミュニケーター

- ・なんらかの分野について情報、智識を持ち、それを広く一般に普及させることのできる人。

シーズ

- ・本来「種」の意味。転じてビジネスの「種」となる研究成果、新技術やアイデア等を意味する。本基本方針中では、企業に限らず大学・研究機関等が保有する研究成果や新技術を含む。研究シーズや技術シーズということもある。

GDP : Gross Domestic Product (国内総生産)

- ・日本の国内で、1年間に新しく生みだされた生産物やサービスの金額の総和。

3Dプリンタ

- ・通常の紙に平面的に印刷するプリンターに対して、3D CAD、3D CG データを元に立体（3次元のオブジェクト）を造形するデバイスを指す。3次元のオブジェクトを造形することを、3D プリンティング（三次元造形、英: 3D printing）と呼ぶ。

SNS : social networking service (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

- ・人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のサービス。あるいはそういったサービスを提供するウェブサイトも含まれる。

中継都市

- ・アジアと日本各地との「ヒト・モノ・カネ」の結節点・玄関口として、わが国全体の成長を牽引する都市。

ディレクション

- ・指導、管理、監督、演出、指揮を行うこと。

デザイン思考

- ・プロトタイプを作り、それをを用いたテストマーケティングなどを通じて実地の試験・検証を行い、そこで問題を発見、解決するというサイクルを回しながら、完成に近づけていくというもの。

ニーズ

- ・要求や需要などのこと。「顧客やユーザーからの要望」というときに、「顧客ニーズ」や「ユーザーニーズ」と使われることが多い。

ハイエンド都市

- ・高度な技術を有する産業や人材などが集積し、高い付加価値を創出する都市。

ハンズオン支援

- ・ベンチャーキャピタルなどが、単なる出資にとどまらず、投資先企業の経営状況のモニタリングや社外取締役の派遣など積極的に業務執行の支援を行うこと。

ビジネスプラン

- ・将来の事業構想を企業戦略、資金調達等の命題を折込み、論理的に体系化し、企業の現況と展望を分かり易く作り上げたもの。

ブラッシュアップ

- ・一定のレベルに達した状態からさらにみがきをかけること。

プラットフォーム

- ・本基本方針中では、多様な主体の連携によりイノベーションを創出するため、情報の収集・提供、マッチングや集客など、さまざまな機能を提供する環境や場のことをさす。

プロトタイプ

- ・デモンストレーション目的や新技術・新機構の検証、量産前での問題点の洗い出しのために設計・仮組み・製造された試験機・試作回路・コンピュータプログラムなどのこと。

ヘッドクォーター

- ・本部。司令部。また、それらの要員。

見える化

- ・企業活動の漠然とした部分を、数値などの客観的に判断できる指標で把握すること。

モバイル

- ・コンピュータシステムへのリモート接続を前提とする携帯用コンピュータ端末機器の総称、またはそれらの機器を使用して、機動力を持たせたコンピュータシステムのこと。

ユーザー指向

- ・ユーザー目線の基準に合わせること。

ライフイノベーション

- ・医療・介護・健康等の分野の革新を意味するもの。同分野の技術革新などを武器とした産業戦略のことを指すこともある。

リーディング・プロジェクト

- ・計画を推進していく中で、全体を先導的にリードしていくプロジェクトのこと。

リーンスタートアップ

- ・トヨタの無駄を省いた生産方式の考え方を起業に適用し、綿密に事業計画をたてるよりも、試作段階からユーザーの反応を取り入れ、柔軟に戦略変更しながら売れる製品づくりをめざす効率的な起業の手法。

ワークショップ

- ・一方通行的な知や技術の伝達でなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で何かを学びあったり創り出したりする、双方向的な学びと創造のスタイル。